

命を守る「防火戸」に貼付する 防火戸ステッカーの データ提供を開始しました

防火戸は、火災時に火煙の伝播を最小限に留め、避難経路を確保する役割があり、命を守る非常に重要な設備です。過去の火災事例を見ると、防火戸が適正に維持管理されていないことで被害が拡大した事例も多くあります。

適正に維持管理されない理由は、目の前にある扉が「防火戸」か「防火戸でないか」が分かりづらいことです。そこで、昨年7月から防火戸を直観的に伝えられる「防火戸ピクトグラム」の運用を開始し、**横浜市内の施設に無償で防火戸ステッカーを配布しています**。現在では市内の大規模集客施設、ホテル及び社会福祉施設等の多くの施設で活用されています。

今回、横浜市内の施設に改めて周知をするとともに、市外の施設においても広く活用してもらいたいという思いから、利用を希望する施設関係者に対し、**無償で防火戸ステッカーのデータ提供を開始しました**。



貼付例 横浜スタジアム

1 提供するデータ

※ 使用ガイドライン及びリーフレットのデータ提供も行います。



© 2018 City of Yokohama + NDC Graphics

A-1

(意匠登録第 1639362 号)



A-2



B



使用ガイドライン



リーフレット

平成 31 年 2 月から

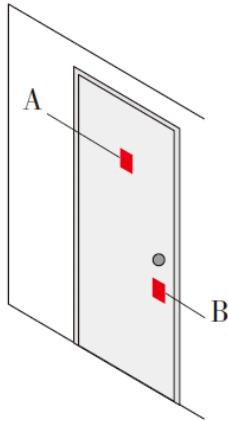
英文併記版に改訂

裏面あり

2 活用方法

※データ提供のみであり、横浜市では作成費用等を負担しません。

提供するデータをステッカーに印刷し、貼付する等、直接防火戸に掲示します。



【使用例】

常に閉められている扉（常時閉鎖式防火戸）に使用する場合

大きさ：左右 6 cm×天地 8 cm

A-1・A-2 を扉上部の任意の位置に、

必要により B を扉下部に貼って使用

3 これまでの取組

平成30年7月 防火戸ピクトグラム 完成 横浜市内の施設に無料配布開始

平成31年2月 防火戸ピクトグラム 英文併記版に改訂

令和元年7月 意匠登録 完了

令和元年9月 データ提供 開始

9月現在 市内 延べ210か所 約14,000枚配布

4 データ提供の申請方法

①横浜市建築局違反对策課「防火戸ステッカー」のホームページをご覧ください。

URL はコチラ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kenchiku/sodan/ihan/boukadosticker.html>

ネットから検索

横浜 防火戸

検索

QRコードで読込



②ホームページ内の「防火戸ピクトグラム等利用取扱要綱」及び「防火戸ピクトグラム等利用取扱要領」をご確認いただき、「利用申請書」を送付していただきます。

③横浜市から申請者に「利用承認書」を通知し、防火戸ピクトグラム等の電子データを提供します。

お問合せ先

建築局違反对策課長 高橋 伸彰 Tel 045-671-3855